

平成 16 年度変更事業計画書

平成 16 年 11 月

財団法人医療情報システム開発センター

平成 16 年度変更事業計画

目 次

- . 基本方針
- . 国からの受託事業
- . その他の受託事業
- . 補助金対象事業
- . 民間機関等共同事業
- . 自主事業

基本方針

e-Japan 計画など国の施策の中では、重要施策の1つに位置付けられている医療・福祉分野では当財団への期待が急増している。他方、政府の公益法人改革の実施に伴い、当財団の財政基盤などその運営に大きな影響を受けている。

当財団を取巻く環境は急激に変化しており、今後、その変化に対応するために、昨年、財団内に「改革委員会」を設置し、「改革の方向性」を取り纏めた。

本年度は「改革の方向性」に沿って、以下の基本方針に重点をおき事業を実施して、改革を推進する。

事業の実施責任者は、事業に関する企画段階から事業実施後の成果等の利活用による収益事業までの権限と責任を明確化し、事業を実施する。同時に、事業の継続及び人材育成の視点から、財団内部の常勤職員が中心となって事業展開し、外部依存度の減少化に努める。

国からの受託事業では、当財団でなければ出来ない基盤的事業に重点を置き、その割合は全事業費の3分の2以下を限度とし、外注費も契約毎に2分の1を限度とする。事業の成果は広く普及させると同時に利活用を図り、収益を得る自主事業展開を実施する。

国以外からの受託事業では、妥当な範囲で一般管理費が取得できる収益事業に限定するが、財団内の人材養成や技術取得・ノウハウ蓄積などが期待される場合は、この限りでない。

財団独自による**自主事業**及び民間・団体などとの**共同事業**では、全事業の3分の1以上を目標に積極的に事業を開拓し展開するが、原則、3年間の累積収支見込が黒字となる事業のみ実施する。

財団の安定的な事業基盤構築に必要な**人材確保・人材育成**や執務環境の整備などの投資は、原則当期収支見込みが赤字にならない範囲でその増大に努める。同時に、間接部門の人件費などの経常的な**固定経費**は大幅な抑制に努める。

職員の**職務意欲**や**職務達成充実感**などの増大に努める。同時に、執務遂行に必要な諸規程などを改善する。

国からの受託事業

1. 厚生労働省からの受託事業

1. 高度医療情報普及推進事業（国の受託事業）

(1) 標準マスター維持管理事業（継続）

平成 15 年度までに既に完成している病名、手術・処置、医薬品、検査、医療材料の他症状・症候名、放射線画像名、生理機能名、診察所見、放射線画像所見、生理機能所見、看護用語・看護行為、歯科領域のコードについて、常に最新の情報を提供するために、定期的な維持管理を行い、標準化の推進を図る。

(2) 特定生物由来製品における共同利用システムの調査検討事業（新規）

特定生物由来製品の使用記録作成及び保存が医療機関・薬局に義務付けられている。しかし、製造から患者等使用までのサプライチェーン全体にわたる、業態を超えた各拠点における製造、販売、使用記録の作成、保管、記録等についてトレーサビリティの視点でのシステム構築が課題となっている。このような状況を踏まえ、メーカー、卸売業、医療機関/薬局における共同利用システムの可能性について調査研究を行う。

2. 要介護認定情報管理・分析事業

前年度に引き続き、認定支援センターと厚生労働省、都道府県、市町村及び研究機関等を結ぶ認定支援ネットワークを活用して、要介護認定における高齢者の情報を収集するとともに、保険者（市町村等）からの疑義照会に対する回答や情報提供を行う。

3. その他の事業

(1) ヒヤリハット事例入力・集計プログラムの改修事業(新規)

医療機関から収集するヒヤリハット事例に歯科分野も追加することになったので、それに伴うプログラムの改修を行う。

(2) **がん及び循環器病診療施設情報ネットワーク開発普及事業**

前年度に引き続きがん及び循環器病診療施設情報ネットワークに必要なデータ入力及びシステム管理を行う。

(3) 医療機関行政情報システム保守・改善事業

医療機関行政情報システムは、厚生労働省、都道府県、保健所間で、医療法に基づく医療監視結果の情報について、迅速かつ正確に報告・還元することを目的とするオンラインネットワーク情報システムである。

前年度に引き続き効率的なシステム稼働のためのプログラムの保守を行うとともに、都道府県や保健所に対して問い合わせ対応等の必要なサポートを行う。

(4) 結核感染症発生動向調査システム保守・改善事業

前年度に引続き、効率的なシステム稼働のためのプログラムの保守・改善を行い、プログラムの改訂版を都道府県・指定都市に提供すると共に、都道府県・指定都市や保健所からの問い合わせ対応等の必要なサポートを行う。

その他の受託事業

1. 相互運用性実証事業

(1) 医療情報システムにおける相互運用性の実証事業「医療情報システムにおける相互運用性推進普及プロジェクト」(委託事業)

医療情報の安全な利用は、今後ますます重要な課題となる。本事業では、マルチベンダシステム環境での医療情報システム構築基盤の整備を目指しており、具体的に、統合されたシステム全体での一元的なユーザ管理を行う基本となるシングルサインオン、ユーザアクセスログの記録・保存、ユーザの権限によりアクセスできる情報へ制限を設ける権限管理、診療の様々な場面で必要となる電子署名のための標準化等を目標に、システム構築に係るセキュリティ基盤を整備する。

(2) 医療情報システムにおける相互運用性の実証事業「標準化・普及事業」

標準化された電子カルテや遠隔医療に用いられる医療情報システムにおいては、相互の情報交換が容易になることにより、より充実した連携の下、良質な医療サービスが提供されることが期待されている。そのためには、医事会計、オーダリング、電子カルテ等の基幹システムや検査、放射線、看護システム等の部門システム、データベースシステム、セキュリティ等の基幹システムを含む医療情報システム全体における相互運用性を確保し、オープンシステム化、マルチベンダー化を進めることが必要である。

本事業では、この推進を図るため「相互運用性普及委員会」の運営を行うとともに、医療機関およびベンダーを対象とした調査、ならびに相互運用性発展のための継続的推進活動のあり方について調査研究を行う。

2. 放射線医学情報提供支援事業 (継続)

前年度に引続き、放射線医学に関するホームページの作成及びホームページを通じて寄せられる質問への回答作成の事業を行う。

3. 健康サービス産業普及事業 (新規)

健康サービス産業の普及を目的として、経済産業省の「健康サービス産業創出支援事業」の採択案件や「ホームヘルスケア事業」のこれまでの取組み等について、講演会を開催し紹介するとともに、関連する展示会に出展することなどで広報する。

4. 国際規格共同開発調査受託事業(国際化への対応) (継続)

わが国の保健医療情報システム産業がグローバルマーケットにおいて競争力を確保できるようにするために、アジア太平洋地域関係諸国と連携・調整を図りながら、国際規

格原案を共同作成する。

本年度は日本から原案を提案した4件（保健医療情報カード、救急応用データセットのフレームワーク、電子カルテの定義、医用波形データ関連）について、前年度に引き続き、国際規格化をはかるための原案審議を進める。

5. コンサルテーション事業（継続）

当財団が蓄積してきた事業の成果物及びノウハウ等を活用して、医療機関、地方自治体などが実施する各種の保健医療福祉情報システム構築等に関して専門的・中立的な立場で助言及び調査・提案などのコンサルティングを実施する。

6. 病歴情報集計事業（継続）

個別病院との契約により、病院から提供される退院時記録を電子化し、DBを管理すると共に、病院からの随時の検索依頼に応じて患者リストや統計表を出力する業務を実施する。

7. 依存性薬物情報集計等事業（継続）

全国の協力医療施設から依存性薬物情報研究班に報告される薬物乱用・依存症例を集計・分析し、その結果を研究班フィードバックする業務を実施する。

8. クリティカルパス・ライブラリーの運用管理事業（新規）

医療機関から登録申請のあったクリティカルパスをWEB上のクリティカルパス・ライブラリに登録する作業等、運用管理を行う。

補助金対象事業

1. 日本自転車振興会補助対象事業

日本自転車振興会の補助金を受けて次の事業を行う。

(1) 医療情報システム調査事業

医療情報システム化の実態を継続的に把握するため、医療機関等を対象とした調査を前年度に続き実施する。調査内容は病院等医療機関内及び介護施設内でのIT化調査並びに医療・介護での情報化に係るシステムの現状調査を実施する。

これらの調査は当財団研究員により調査項目を作成し、アンケートや面接による方法で実施する。これらのことから、医療分野での情報のシステム化の促進に寄与する。

(2) 医療情報システム普及促進事業

医療情報のシステム化の普及を促進するために、講演会や説明会等の開催、医療情報普及資料の作成を実施する。

講演会、説明会は、医療情報システム普及促進のために医師、薬剤師、看護師等医療従事者と医療関係企業人、一般市民を対象として開催する。これにより、医療情報システムの理解と普及促進に努める。

(3) 医療情報システム標準化等推進事業

国内標準化活動として、公開鍵基盤等セキュリティシステムや多機能ICカード、医療分野におけるホームページ、遠隔医療システム等医療情報システムの基盤について調査・検討し、国内の標準化を推し進める

(4) 医療情報システム開発事業

医療福祉施設向けのホームページ作成支援ツールの開発を行うとともに、福祉介護施設が国際標準であるISO9001を取得することを支援するツールを開発する。

．民間機関等共同事業

1. 介護施設 ISO9001 認証取得支援事業（継続）

前年度に引続き、介護施設における ISO9001 認証取得の支援を実施する。認証取得の普及啓蒙活動として、各地で説明会・セミナーなどを開催する。

2. バーチャル展示会開催事業（継続）

前年度開催した Web EXPO2003 に引続き、本年 2 月～5 月に EXPO2004 を開催し、本年秋以降には常設展として開催する。

自主事業

1. 医薬品情報提供事業（継続）

前年度に引続き、医薬品添付文書の新規作成・改定に対応したデータベースの更新及び標準医薬品マスターとの対応を行うと共に、医療機関・医薬品関連企業等の情報提供先の拡大を図る。

2. 標準マスター等提供事業

(1) 標準マスターの提供事業（継続）

前年度に引続き、標準マスターは当財団の Web 上に公開し、ダウンロード方式で提供するが、利用者のニーズに応えるために電子媒体や印刷物でも提供する。

マスターをより使いやすくするために、新に病名マスターに診療料フィールドを取り入れたマスターなどの提供を行う。

(2) ツールの開発・提供事業（新規）

本年度は、マスターからの検索を容易にするツールとして、標準マスター検索用ソフト、検索用標準医薬品名称マスターを開発し、マスター利用者に提供する。

(3) 普及説明会等開催事業（継続）

前年度に引続き、マスターの普及を図るために、マスター利用者に対して地域別に標準マスターの説明会を開催する。

また、新たに、マスターの精度向上を図るために、医薬品・医療材料などのデータの登録促進セミナーなどを開催する。

3. プライバシーマーク付与推進事業

(1) プライバシーマーク付与認定事業（継続）

病院、検査センター、薬局、介護福祉施設等の保健医療（福祉含む）分野のプライバシーマーク付与認定審査を 24 施設程度行う。また、予備審査事業も継続して行う。

(2) プライバシーマーク普及・促進事業

普及セミナー開催事業（継続）

保健医療分野のプライバシーマーク普及のため、セミナー等の説明会を定期的で開催する。申請者向けとコンサルタント向けに対象を分け、それぞれの対象に合った内容で開催する。

コンサルタント教育事業（新規）

保健医療分野のプライバシーマークのコンサルタント事業を行う者を対象に、コンサルタントのレベル向上を図るための教育事業を発足させ、講習会を開催する。

4. セキュリティ事業

(1) PKI 電子証明書発行事業（継続）

昨年度に引続き、「Medicertified Service」の名称で、製薬企業が厚生労働省に個別症状例安全性情報をオンラインで報告する際に必要となる電子的証明書を発行する。

また、保健・医療・福祉分野において、民間と国、民間と民間でのオンライン情報交換で必要となる PKI 電子証明書発行の需要を開拓し、事業の拡大をはかる。

さらに、このような電子的な証明書を必要とする団体・企業・個人などを対象とした説明会などを開催する。

(2) HPKI 電子証明書発行事業（新規）

昨年度まで行ってきた実証試験などの成果を活用し、本年度は HPKI の認証局を運用し、HPKI に準拠するサブ CA 局や希望する施設や個人などへの電子証明書を発行する。

また、保健医療福祉分野におけるサブ CA 局の HPKI 適合性の検証および関連するセミナーなどの開催を実施する。

(3) セキュリティ対策監査事業（新規）

保健・医療・福祉分野における情報システムのセキュリティ対策監査（適合認定）制度を策定し、事業を開始するとともに、関連するセミナーなどを開催する。

(4) HPKI 開発実証事業（新規）

HPKI に対応したシステム向けのソフトを開発するために、自主事業として着手する。

5. 賛助会員事業

会員専用のニュースレターの送信、会員対象のセミナー等開催などの情報提供を行う。

会員専用ホームページの運営、会員ホームページとのリンク、会員への講師派遣などの協力、会員主催の事業・行事に対する企画・相談などの会員支援業務を行う。

6. 財団の広報事業

財団主催の MEDIS-DC 講演会などの講演会開催

財団のホームページによる情報発信、パンフレットや成果報告書の頒布など

関係機関が主催する行事への展示・財団の広報資料配布・講師派遣など

関係機関が主催する行事への後援・支援・共催など